



Silk Central 20.5

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 2004-2019 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Central は、Micro Focus またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2019-11-21

目次

Silk Central 20.5 リリース ノート	4
Silk Central 20.5 の新機能	5
管理	5
要件	5
テスト	5
実行計画	6
Issue Manager	6
実行	6
Quality Center からの移行	6
システム要件および前提条件	7
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	9
Micro Focus へのお問い合わせ	10
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	10
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	11
サポートの終了	13
予定されているサポートの終了	14

Silk Central 20.5 リリースノート

バージョン 20.5

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 20.5 の新機能

Silk Central 20.5 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

管理

カスタマ フィードバック

Silk Central 20.5 の *Silk Central* 向上プログラム では、テスト管理のエクスペリエンスの向上に加え、レポートの利用状況も対象とします。レポートの利用頻度や使い方についての情報を収集することで、さらに機能の向上に役立っています。

自己登録型実行サーバーの強化

Silk Central では、コマンドラインから実行サーバーを登録する機能が強化されました。コマンドラインに、タイムアウトを指定するパラメータが追加されました。タイムアウト時間が経過すると、実行サーバーが応答しないことを通知する電子メールを管理者に送信します。

実行計画の実行 API

実行計画を実行する際に、一致する実行サーバーが利用可能でない場合にも、実行計画を実行できるオプションを設定できるようになりました。これにより、実行計画を開始しておき、実行サーバーが利用可能になるまで Silk Central を待機させることができます。

スーパー ユーザーの表示

Silk Central のユーザー設定で、ユーザーがいずれかのグループでスーパー ユーザーとして割り当てられている場合に、それがわかるように表示されるようになりました。スーパー ユーザー ロールが割り当てられていると、他の割り当てはすべて無視されます。

要件

要件のエクスポート

ドキュメント ビューで、要件を XLSX ファイルとしてダウンロードできるようになりました。生成した Excel シートにはドキュメント ビューに表示されているすべての行が含まれます。

必須カスタム プロパティ

必須のカスタム要件プロパティを定義できるようになりました。要件の作成時に、必須プロパティの値の入力が強制されます。

テスト

テスト資産のワークフロー

Silk Central 20.5 では、テスト資産にワークフローの概念が導入されたため、社内プロセスと対応付けられるようになりました。手動テストに対して状態と遷移を持つワークフローを利用することにより、承認されたテストだけを実行用に選択するなどの制約を設けることができます。

必須属性

必須のテスト属性を定義できるようになりました。テストの作成時に、必須属性の値の入力が強制されません。

グローバル リスト属性

新しい属性タイプとして、グローバル リストが Silk Central 20.5 に追加されました。グローバル リスト属性の値は、値リストを利用します。

実行計画

グローバル リスト属性

新しい属性タイプとして、グローバル リストが Silk Central 20.5 に追加されました。グローバル リスト属性の値は、値リストを利用します。

Issue Manager

リンク フィールド

値リストをほかの値リストを使ってグループ化できるようになりました。これにより、Issue Manager で依存フィールドを定義できます。つまり、ほかのリストの選択に依存して内容の変わるリストを定義できます。

実行

ソース管理ラベル

自動テストの実行時に使用したソース管理ラベルの情報が、実行結果に含まれるようになりました。

Quality Center からの移行

Quality Center からの移行の強化

Silk Central 20.5 では、Quality Center から Silk Central への移行機能が強化されました。たとえば、添付ファイルや、テスト、ステップ、要件、課題の説明中の画像が Silk Central へ自動的に移行されるようになりました。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	2 コアの Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 8 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	「 テスト済みおよびサポートされているソフトウェア 」を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

追加するインスタンスごとに、最低 10 GB の追加のディスク容量と、次の最低メモリが必要になります。

- フロントエンド サーバー : 500 MB
- アプリケーション サーバー : 300 MB
- チャート サーバー : 200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。

プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox• Microsoft Edge

手動テスト UI は、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。Internet Explorer 11 を使った手動テストでは、32 ビット版の Java をクライアント上にインストールする必要があります。

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

解決された問題と、実装された機能拡張要求を以下に示します。

SI #	RPI #	説明
	641201	グラフの種類の変更時にパラメータ値が上書きされる
	641024	サブレポートの追加 ダイアログがフリーズする
3191561	1117018	問題の添付情報の表示時にスクロールバーが表示されない
3196545	1117540	要件の作成時に括弧が一致しないエラーが発生して失敗する
3199848	1117704	カスタム レポートが Oracle のエラー (ORA-01013) で失敗する
3200244	1117733	繰り返し発生するパフォーマンス上の問題：アプリケーション サーバー上の自動拡張スレッド プールの改善とアクセス不能な実行サーバーに対するスレッド消費の低減
3200604	1117965	XML の無効な文字エラーによりレポートが機能しない
3202524	1117947	デフォルト以外のインスタンスに対するテスト結果へのリンクが切れている
3202915	1118004	データベース接続がブロックされたことが原因で LQM テーブルが更新されない
3204045	1118082	すべての要件 レポートが Oracle のエラー (ORA-01790) で失敗する

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central20.5 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Android 5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x (モバイルデバイスのテスト)
- iOS 10.x、11.x、12.x、13.x (モバイルデバイスのテスト)

 **重要:** 「[Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム](#)」は、すべての Microsoft Windows オペレーティング システムで必要です。Microsoft Windows Server 2016 以降の場合、**Windows Server (デスクトップ エクスペリエンス)** インストール オプションを選択する必要があります。

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

サポートする Web サーバー

- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- IIS 10 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2017
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)。Oracle RAC はサポートされません。
- Oracle 12c (バージョン 12.2.0.1)。Oracle RAC はサポートされません。

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 7.2
- Caliber 11.4、11.5
- Mobile Center 2.51 以降
- Silk Performer 20.5
- Silk Test 20.5
- StarTeam 15.x、16.x、17.0
- Silk TestPartner 6.3
- Unified Functional Testing (UFT) 14.0

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 6、7、8 (バージョン 6 と 7 はテスト対象ではありませんが、サポート対象です)
- Atlassian JIRA Agile 6、7、8 (バージョン 6 と 7 はテスト対象ではありませんが、サポート対象です)
- Bugzilla 4.4.13、5.0.4
- CA Agile Central
- Git 2.20.1
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- JUnit 4.x、5.x
- Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョン
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2015
- NUnit 2.6.4、NUnit Console/Engine 3.8
- SAP Solution Manager 7.2
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2015、2017
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

サポートの終了

このトピックでは、Silk Central 20.5 でサポートされなくなった機能を示します。

オペレーティング システムのサポート

Microsoft Windows 7 は、Silk Central 20.5 でサポートされなくなりました。

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

オペレーティング システムのサポート

以下のオペレーティング システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2

データベース管理システムのサポート

以下のデータベース管理システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Oracle 11g

要件管理システムとの統合

以下の要件管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Caliber
- IBM Rational DOORS
- Atlassian JIRA 6
- Atlassian JIRA 7
- VersionOne Enterprise Edition
- CA Agile Central

問題追跡システムとの統合

以下のサードパーティ製問題追跡システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Atlassian JIRA 6
- Atlassian JIRA 7
- Bugzilla 4.4.13
- IBM Rational ClearQuest
- Team Foundation Server 2015

ソース管理システムとの統合

以下のサードパーティ製ソース管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Team Foundation Server 2015

クラウドとの統合

以下のサードパーティ製クラウドとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- VMware vCloud

モバイル デバイス プロバイダとの統合

以下のサードパーティ製モバイル デバイス プロバイダとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Sauce Labs

Microsoft Office インポートとの統合

以下の Microsoft Office インポートとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Office Word (.doc)